

2021

学校朝会では1月に話した「念ずれば花開く」にもふれました。コロナがなくなれと願うだけではだめ！大江小はみんなで一生懸命「感染拡大防止」に努力し、願いを達成するのだ！！



春の風



今月の歌「また会う日までさようなら」のポイントは「①声を遠くに飛ばすように
②イメージをもって歌う」でした。学校では大きな声でのびのび歌うことができないのでぜひお家でお風呂タイムでも歌ってほしいな。ご近所迷惑かしら・・・(笑)。

2月2日
No.136

2月の学校朝会は「画竜点睛」の話



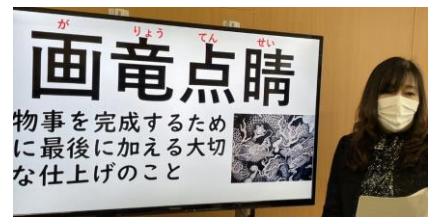
まず、音楽委員さんが、今月の歌のポイントを説明してくれました。音楽委員さんたちも、コロナ禍の中での活動を工夫してやってくれます。ありがとうございます。



そして、2月の校長の話は、4年生の「書初め」の話題から。自分の選んだ四字熟語を堂々と書いて、とてもすばらしかったです。そこで四字熟語クイズを出しました。『「画竜点睛」何と読むでしょうか?』と問いました。それから中国のお話をしました。

昔、昔、中国に張僧繇(チョウ ソウリョウ)という優れた画家がいました。ある時張さんは、安楽寺という寺から壁画として四体の龍を描くように頼まれます。引き受けた張さんは、これを見事に仕上げてみせますが、何故か龍に睛(め)を入れませんでした。住職さんが「何故目を入れないのか」と尋ねると、張さんは「目を入れると龍が逃げてしまう」と言いました。まわりの人はそれを冗談と思って笑い飛ばしました。「なら入れてみよ」とまくしたてられ、渋々張さんは一匹の龍に目を入れてみせました。すると、どうでしょう。壁の中にいた龍は、その目に力を宿し、描かれた壁を突き破って稲妻と雲を伴いながら、天へと飛び立ってしまいました。以来、安楽寺の壁には、三体の目のない龍が壁画として残されているそうです。

そのお話から、「画竜点睛」とは、「物事を完成するために最後に加える大切な仕上げのこと」をいいます。最後の仕上げが大切であるという意味です。まさに今、子どもたちは、進級・進学するために、最後の大事な仕上げを行っています。それぞれの学級や学年が、仕上げとなる何かを見極め、それを行うことで一層学校も勢いがかかります。ワンランクアップできます。仕上げとなる何かは、あいさつでもよい、スリッパ並べでも無言そうじでもよい、国語や算数の勉強でもよい



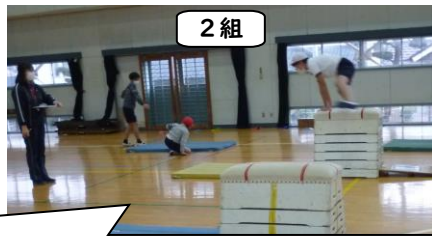
い・・・そして友情を深めるでもよい・・・このクラスの友達とも、先生ともお別れなのです。しっかり力をつけて進級・進学するためには、最後の大事な仕上げが必要なのです。

今まさに仕上げの時、次の学年の0学期です。自分は今何をすべきか、しっかり考えて行動してほしい。どうにかする力だ！

今まさに 仕上げの時
今は 次の学年の0学期

進級・進学まで あと学校に来るのは
32日間しかない
自分は、今何をすべきか、しっかり考えること

let's think



6年生は中学1年の0学期。なんかみんなの顔つきが変わってきた感じがします。いい顔ですよ。落ち着いています。1組はゴア先生のアメリカでの1番の思い出を聞いていました。英語の仕上げはクリス先生へお手紙を出すそうです。2組は体育の仕上げ。いろいろな技に挑戦していました。3組は卒業プロジェクト会議をしていました。どんなプロジェクトがあるのかな。とても楽しみです。小学校の集大成。みんな元気で笑顔でがんばってほしいな。



設計図を描いて紙粘土で写真立てを作っていました。いいね～♡



仲間と力を合わせて創作曲を作っていました。意見を話し合っってよい音楽づくりができました



今日はとても空気が冷たかったですね。花の苗植えをがんばっていました。



朝から苗のお世話をする人たちが増えました。春が楽しみです。